

使用済みスプレー缶・カセット式 ガスボンベは 必ず中のガスを出し切ってください！

ごみに出す前に中身の有無を確認しましょう

缶を振って「シャカシャカ」音がしたら、まだガスが残っています。必ず使い切るか、中身を出し切ってからごみを出してください。



残っているガスを出し切りましょう

残ったガスを出す場合は、必ず火気のない風とおしの良い場所で行ってください。使用済みスプレー缶等のガス出しは、商品に付属の「ガス抜き用蓋」や、商品に記載された説明書をご覧ください、ガスを出し切ってください。

どうしても使いきれない場合

使い切ったはずなのに、まだ中身の音がする場合は、商品に表示されているメーカーにお問い合わせください。

使用済カセット式ガスボンベにメーカーの記載がない場合は、一般社団法人日本ガス石油機器工業会カセットボンベお客様センター(電話0120-14-9996)までお問合せください。

缶には穴を開けないで出してください

缶に穴を開ける作業は、火災やガスを吸い込む危険を伴うため絶対に行わないでください。



ごみの出し方

青い袋(金属・その他)に入れて、ごみステーションに出すか、透明な袋に入れ、日曜日の午前中に資源リサイクルステーション(三川町公民館駐車場西側)に出してください。

【問合せ先】

三川町 建設環境課 環境整備係
電話：0235-35-7036 (直通)

(裏面もご覧ください)

ごみ収集車の車両火災発生！

発生時刻 令和2年4月16日(木) 午前10時55分頃
発生場所 神花ニュータウンごみステーション前



4月16日(木)午前10時55分頃、神花ニュータウンのごみステーション前で、不燃ごみの収集作業中にごみ収集車両から爆発音とともに発火した。

ごみ収集車備え付けの消火器による初期消火や、消防三川分署の放水により早期に鎮火したため、収集作業員の負傷や収集車両の損傷はなかった。

鎮火後には、鶴岡市消防本部、鶴岡市消防署三川分署及び鶴岡警察署による現場検証が行われた。



出火原因は特定できなかったが、鶴岡市消防本部の見解では、スプレー缶やガスボンベの可燃性ガスに、金属同士の衝突で発生した火花が引火したものと推測されている。



車両火災が発生すると、消火活動等でごみ収集に遅れが生じます。使用済スプレー缶などのごみを出す際は、缶の中にガスが残らないよう皆様のご協力をお願いします。